

平成17年度行政評価結果の公表について

平成17年11月28日
市長公室

1 公表の趣旨

効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに、市政の透明性を高め、その内容を市民によりわかりやすく説明するために取り組んできた行政評価について、平成17年度第2回目の評価結果を公表するものである。

2 公表の内容及び方法

(1) 内容

行政評価システムを活用した予算編成、施策の優先度評価結果、平成18年度予算重点化施策の基本方針・・・・別記のとおり。

(2) 方法(時期)

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 「ウェブもりおか」掲載 | 平成17年11月28日 |
| ② 市の主要施設への備付け | 平成17年12月 |
| ③ 「広報もりおか」掲載 | 平成17年12月15日号 |
| ④ 報道機関への資料提供 | 平成17年11月28日 |

3 今後の予定

第3回 平成18年2月 事務事業優先度評価結果、事務事業事前評価結果、大規模公共事業の評価結果、平成18年度予算編成方針

《平成18年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程》

H16年度施策の振り返り（評価）

H17年8月公表済

◎ 成果（実績）の水準の検証

- ① 経年比較…第三次総合計画スタート時点の水準との比較
- ② 近隣等比較…近隣市町村・東北各県県庁所在市等との比較
- ③ 住民期待比較…住民の期待する水準との比較

◎ 成果向上に市の施策が及ぼす影響力の検証

新たな政策課題に対応した重点化施策

◎ 優先プロジェクト施策

- 1 雇用対策
- 2 盛岡ブランドの確立
- 3 ガーデン都市づくり

◎ 分野別重点施策

- 4 子育て支援と地域福祉の推進
- 5 次代を担う人材の育成
- 6 暮らしやすい、環境にやさしい都市の創造
- 7 市民に開かれた理想の県都の創造

これらの推進に、各施策がどの程度役割を果たしているか。

施策の成果向上余地

- #### ◎ 予算を投入することで、各施策の成果をどれくらい向上させることができるか。

施策の継続性

- #### ◎ 継続した取組みを実施することで、各施策の成果をどれくらい向上させることができるか。

行政評価推進委員会及び同幹事会において、以下の視点からさらに検討

＜＜予算を重点配分し

成果の向上を図る施策＞＞

- 新総合計画で定めた「まちづくりの基本目標」の実現に特に関連が深い施策
- 「新たな政策課題に対応した重点化施策（方針）」に特に関連が深い施策
- 短期間の投資によって一定の成果が見込まれる施策
- 玉山村との合併も踏まえ、自立した街づくり、魅力ある街づくりに関連が深い施策

＜＜予算の水準を維持しながら

成果の向上を図る施策＞＞

- 新総合計画で定めた「まちづくりの基本目標」の実現に関連する施策
- 「新たな政策課題に対応した重点化施策（方針）」に関連する施策
- 少子化対策に資する施策
- 安全で安心な街づくりのための施策

重点配分・水準維持10施策の選定（H18年度施策の優先度評価）

重点配分施策《3施策》

- 1 みんなで支える子育て支援の展開
- 2 地域資源をいかした観光・物産の振興
- 3 うるおいのある公園・街路樹の確保

水準維持施策《7施策》

- 1 市民生活を守る安全対策の充実
- 2 将来を担う次世代の育成
- 3 まちに活力を与える工業の振興
- 4 多様で活発な商業・サービス業の振興
- 5 安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進
- 6 快適な居住環境の実現
- 7 都市活動を支える交通環境の構築

これら10施策以外の
31施策は配分抑制施策
となる。

盛岡市の行財政構造改革

ウェブもりおか > 行政評価 > 平成17年度行政評価

[平成17年度行政評価について](#) | [平成17年度振り返り評価結果](#) | [平成18年度予算編成について](#)

平成17年度行政評価

盛岡市が取り組んでいる行政評価について、システムの概要やシステム構築の目的、スケジュール、評価体制などについてお知らせします。

平成17年度行政評価について

1. 行政評価とは

- (1) 行政評価とは何か
- (2) 行政評価は何のために行うのか
- (3) 行政評価によって何が変わるのか
- (4) これまでの事務事業見直しとどこが違うのか
- (5) 評価結果を何に反映させるのか
- (6) どのような仕組みか
- (7) 評価の内容はどのようなものか

2. 構築スケジュール

3. 評価体制

4. 職員の研修状況

平成17年度振り返り評価結果について

平成16年度に盛岡市が行った行政活動について、施策単位と事務事業単位に行った評価結果をお知らせします。

1. 事務事業評価

[>>平成17年度事務事業評価結果シート](#)

2. 施策の達成度評価

[>>平成17年度施策達成度評価結果シート](#)

3. 施策の貢献度評価

[>>平成17年度施策の貢献度評価\(振り返り\)結果集計表](#)

[>>施策の貢献度評価\(振り返り\)結果シート](#)

平成18年度予算編成について

行政評価を活用した平成18年度予算編成について、予算編成方針と重点施策基本方針等についてお知らせします。

1. 行政評価システムを活用した予算編成

2. 施策の優先度評価

3. 平成18年度予算重点化施策の基本方針

[画面上へ](#)

ウェブもりおか > 行政評価 > 平成17年度行政評価

盛岡市の行財政構造改革

ウェブもりおか > 平成17年度行政評価 > 平成18年度予算編成について

行政評価システムを活用した予算編成 | 施策の優先度評価 | 平成18年度重点施策基本方針

平成18年度予算編成について

行政評価システムを活用した予算編成

盛岡市では、平成17年度当初予算から、行政評価を活用した「施策毎予算枠配分方式」を導入し、予算編成を行っています。

この方式は、

1. 盛岡市総合計画に掲げる41の施策について、政策目標に対する貢献度と優先度の評価を実施
2. 上の評価結果に基づいて、施策毎に予算を枠配分
3. 各施策のなかの事務事業について優先度評価を実施し、評価結果に基づいて施策に与えられた予算を事務事業へ配分

という手順で各事業の予算額を決定するものです。

個別の事務事業1件毎に査定を行い予算額を決定していた従来の予算編成と異なり、「まちの課題」ともいえる施策単位で予算を配分することで、限られた財源をより有効に、効率的に使ったまちづくりを進めていくことができます。

平成18年度当初予算もこの方式によって編成することとしています。

施策の優先度評価

2005年7月に実施した施策の貢献度評価(振り返り)結果と2004年3月に策定した「盛岡市行財政構造改革の方針及び実施計画」で打ち出した「新たな政策課題に対応した重点化施策(方針)」に掲げる7つの優先プロジェクトとの関連性、さらには各施策に対する投資効果や、継続した取り組みの必要性などを基に、行政評価推進委員会及び同幹事会で検討を行い、平成18年度に本市が優先的に取り組む施策を決定しました。

この結果、新しい総合計画の41の施策のうち、平成18年度は10の施策を優先することに決定し、さらにこの中の3施策を予算重点配分施策、7施策を予算水準維持施策とし、成果の向上を図ることとしました。

残りの31施策については、予算配分抑制施策とし、成果の維持を図ることとしました。

[>>平成18年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程・優先度評価結果](#)

[>>平成18年度施策毎枠配分額の考え方](#)

平成18年度予算重点化施策の基本方針

「施策の優先度評価」の結果に基づいて選定された、平成18年度に本市が優先的に取り組む10の施策について、それぞれ「課題」「目指す成果(目標)」を確認し、「基本的方向」を決定しました。

[>>予算を重点配分し成果の向上を図る3施策](#)

[>>予算の水準を維持しながら成果の向上を図る7施策](#)



画面上へ

ウェブもりおか > 平成17年度行政評価 > 平成18年度予算編成について

盛岡市市長公室行財政改革推進課

Copyright 2005 City of Morioka. All Rights Reserved.

盛岡市の行財政構造改革

ウェブもりおか > 平成18年度予算編成について > 平成18年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程・施策の優先度評価結果

平成18年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程 | 施策の優先度評価結果

平成18年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程・施策の優先度評価結果

平成18年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程

1. 施策の貢献度評価結果
2. 2004年3月に策定した「新たな政策課題に対応した重点化施策(方針)」の推進に、それぞれの施策がどの程度役割を果たしているか。
3. 投資による各施策の成果向上余地がどれくらいあるか。
4. 各施策について、昨年度からの継続性がどの程度必要とされているか。

これら4点から、各施策について次年度どのような位置づけとするかを決定

行政評価推進委員会及び同幹事会で検討の結果、以下の10施策を平成18年度の予算重点化施策に選定しました。

1 重点配分施策(3施策)

- 行政評価推進委員会及び同幹事会での検討の基本方針
 - 新総合計画で定めた「まちづくりの基本目標」の実現に特に関連が深い施策
 - 「新たな政策課題に対応した重点化施策(方針)」に特に関連が深い施策
 - 短期間の投資によって一定の成果が見込まれる施策
 - 玉山村との合併も踏まえ、自立した街づくり、魅力ある街づくりに関連が深い施策

上記の4点に沿って各施策ごとに検討の結果、以下の3施策を選定しました。

1 みんなで支える子育て支援の展開

【選択の理由】

- 昨年度も水準維持施策として取組みが進められているが、今後も継続して、重点的な取組みが必要な分野である。
- これからの街づくりにとって、少子化対策が必要とされている。特定の部門だけでなく、市全体での取組みが必要である。

2 地域資源をいかした観光・物産の振興

【選択の理由】

- 新総合計画で定めたまちづくりの基本目標である「交流人口の拡大」、「盛岡ブランドの確立」、「元気なまち盛岡」の具体化を推進する施策である。
- 予算の重点投資による成果の向上余地が大きいと判断される。
- 施策の貢献度評価の結果、昨年度の施策の成果が低いと判断されている。

3 うるおいのある公園・街路樹の確保

【選択の理由】

- 市民や商店街の協力もあって成果が出始めている施策であり、今後も継続して取り組むことで更なる成果向上が見込まれる。
- 新総合計画で定めたまちづくりの基本目標である「交流人口の拡大」や「盛岡ブランドの確立」にも関連する施策である。

- 予算の重点投資による成果の向上余地が大きいと判断される。

2 水準維持施策(7施策)

○ 行政評価推進委員会及び同幹事会での検討の基本方針

- 新総合計画で定めた「まちづくりの基本目標」の実現に関連する施策
- 「新たな政策課題に対応した重点化施策(方針)」に関連する施策
- 少子化対策に資する施策
- 安全で安心な街づくりのための施策

上記の4点に沿って各施策ごとに検討の結果、以下の7施策を選定しました。

1 市民生活を守る安全対策の充実

【選択の理由】

- 昨年度は重点配分施策であったが、交通安全施設などの整備を継続して実施する必要がある。
- 安全教育、防犯教育に力を入れる必要がある。
- 消費生活相談が増加傾向にあり、重点配分施策であった昨年度から継続した取り組みが必要である。
- 施策の貢献度評価の結果、昨年度の施策の成果が低いと判断されている。

2 将来を担う次世代の育成

【選択の理由】

- 子育て支援の一環として、幼稚園、小、中、高等学校教育の充実が必要である。
- 学校教育、人材育成はともに市にとって重要な施策であり、水準維持施策であった昨年度から継続した取り組みが必要である。
- 予算の投資による成果の向上余地が大きいと判断される。

3 まちに活力を与える工業の振興

【選択の理由】

- 市としての継続的な取り組みが必要であり、昨年度の配分抑制施策としての位置付けから格上げする必要がある。
- 施策の貢献度評価の結果、特に市民の期待に対する昨年の施策の成果が低いと判断されている。
- 予算の投資による成果の向上余地が大きいと判断される。

4 多様で活発な商業・サービス業の振興

【選択の理由】

- 魅力ある商店街の形成支援、多様なサービス業の振興などを通じて雇用の推進が期待できる。
- 昨年度も水準維持施策であったが、市としての継続的な取り組みが必要である。

5 安定した雇用の創出と快適な労働環境の促進

【選択の理由】

- 企業誘致、雇用対策の推進など、現在市で積極的に取り組んでいる分野である。
- 税収の確保にも大きく寄与する施策である。

6 快適な居住環境の実現

【選択の理由】

- 昨年度は重点配分施策としていたが、生活道路環境の向上、除排雪の充実など、引き続き取り組んでいく必要がある。
- 施策の貢献度評価の結果、特に市民の期待に対する昨年の施策の成果が低いと判断されている。
- 予算の投資による成果の向上余地が大きいと判断される。

7 都市活動を支える交通環境の構築

【選択の理由】

- 総合交通計画を策定し、公共交通機関、自転車などを生かした交通体系の整備が必要である。
- 都市計画道路の整備を進めていく必要がある。
- 施策の貢献度評価の結果、特に市民の期待に対する昨年の施策の成果が低いと判断されている。
- 予算の投資による成果の向上余地が大きいと判断される。

施策の優先度評価結果

施策の柱	施策	評価区分
1.いきいきとして安心できる暮らし	1.健やかに暮らせる健康づくりの推進	抑制
	2.地域をリードする医療体制の確立	抑制
	3.共に歩む障害者福祉の実現	抑制
	4.高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	抑制
	5.暮らしを支える制度の充実と自立支援	抑制
	6.みんなで支える子育て支援の展開	重点
	7.ふれあいが広がる地域福祉の実現	抑制
2.安全な暮らし	8.自然災害対策の推進	抑制
	9.火災に強い消防体制の構築	抑制
	10.市民生活を守る安全対策の充実	維持
3.心がつながる相互理解	11.元気な地域コミュニティ活動の推進	抑制
	12.人権を尊重する地域社会の形成	抑制
	13.多様な国際交流・地域間交流の推進	抑制
	14.快適な情報ネットワークの実現	抑制
4.うるおいのある教育・文化	15.将来を担う次世代の育成	維持
	16.いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築	抑制
	17.生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現	抑制
	18.豊かな心を育む芸術文化活動の支援	抑制
	19.歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	抑制
5.活力のある産業の振興	20.活力ある農林業の振興	抑制
	21.まちに活力を与える工業の振興	維持
	22.多様で活発な商業・サービス業の振興	維持
	23.地域資源をいかした観光・物産の振興	重点
	24.安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進	維持
6.環境との共生	25.生活環境の保全	抑制
	26.かけがえのない自然との共生	抑制
	27.地球環境への貢献	抑制
7.快適な都市機能	28.適正な土地利用計画の推進	抑制
	29.魅力ある都市景観の形成	抑制
	30.快適な居住環境の実現	維持
	31.うるおいのある公園・街路樹の確保	重点
	32.いつでも信頼される上水道事業の推進	抑制
	33.健全な水環境・良好な水循環の創出	抑制

	34.にぎわいのある市街地の形成	抑制
	35.都市活動を支える交通環境の構築	維持
8.信頼される質の高い行政	36.健全な財政運営の実現	抑制
	37.計画的で効率的な行政運営の推進	抑制
	38.市民とともに作る行政の実現	抑制
	39.市民の負託に応える組織の構築・人材の育成	抑制
	40.より便利な行政サービスの構築	抑制
	41.自治の確立を目指す取組みの強化	抑制
		重点:重点配分施策(3施策)
		維持:水準維持施策(7施策)
		抑制:配分抑制施策(31施策)

[画面上へ](#)

[ウェブもりおか](#) > [平成18年度予算編成について](#) > [平成18年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程・施策の優先度評価結果](#)

盛岡市市長公室行財政改革推進課

Copyright 2005 City of Morioka. All Rights Reserved.

盛岡市の行財政構造改革

ウェブもりおか > 平成18年度予算編成について > 平成18年度施策毎枠配分額の考え方

平成18年度施策毎枠配分額の考え方

一般会計の平成18年度財源見込額は、平成17年度当初予算に比較して約0.4%の増となる見込みです。一方の歳出面では義務的経費、特殊事業、特別枠事業において、歳入の増加見込みを上回る費用の増加が見込まれています。

平成18年度当初予算編成では、まず平成17年度事業を基本として、施策毎に平成18年度の義務的経費、準義務的経費、特殊事業、特別枠事業に係る経費を算定しました。

次に、一般財源の総額からこれらの額を差し引いて、残った経費を施策の優先度評価に基づき、平成17年度事業費をベースとして施策毎に傾斜配分をしました。

新規要望の事業については、特別枠事業に該当するものを除き、施策の中で事務事業の廃止・休止、他の事業との統廃合等を検討して対応しました。

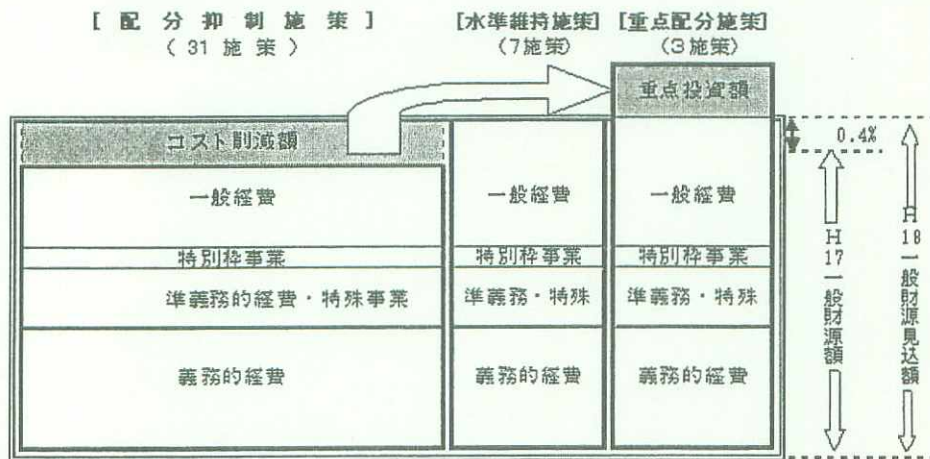
注) 義務的経費: 人件費、扶助費、公債費

準義務的経費: 人件費、公債費に対する他会計繰出金、債務負担行為に係る経費等

特殊事業: 数年に一度開催される事業に係る経費等

特別枠事業: 多額の費用を要し枠内で調整が困難な政策的事業

<平成18年度施策毎枠配分額の考え方>



[画面上へ](#)

ウェブもりおか > 平成17年度予算編成について > 平成18年度施策毎枠配分額の考え方

盛岡市市長公室行財政改革推進課

Copyright 2005 City of Morioka. All Rights Reserved.

盛岡市の行財政構造改革

ウェブもりおか > 平成18年度予算編成について > 予算を重点配分する3施策

平成18年度予算重点化施策の基本方針

1 予算を重点配分し成果の向上を図る3施策

1 みんなで支える子育て支援の展開 | 2 地域資源を活かした観光・物産の振興 | 3 うるおいのある公園・街路樹の確保

1	施策名	みんなで支える子育て支援の展開		
	課題	1 子育てに悩みや不安をもっている親が多い。 2 多様な保育ニーズを十分満たしていない。		
		◎ 新総合計画の成果指標		
	1	子育て支援サービス利用者数	現状値(平成16年度) 6161人	平成21年度末目標値 7100人
			平成26年度末目標値 8300人	
目指す成果(目標)		○目標値達成のために… ア 平成17年度に「にこにこルーム(注1)」1カ所、「地域子育て支援センター(注2)」2ヶ所増設 イ 平成19年度までにさらに「地域子育て支援センター」を2ヶ所増設予定 ウ 平成20年度に複合型施設内で「つどいの広場事業(注3)」実施予定 注1 公民館等を利用して、保育士が出向いて遊びを指導し、親子が気軽に遊べる場の提供と親同士の交流を図るもの。 注2 育児のノウハウを蓄積している保育所が、地域の子育て家庭に対し、保育園の開放等種々の事業により地域に密着した子育て支援を行うもの。 注3 親子の交流の場の提供、子育てに関する相談・援助、子育て関連情報の提供、子育て・子育て支援に関する講習を行うもの。		
	2	アンケート調査で「子育てに悩んでいる・不安を持っている」と答えた子どものいる親の割合	現状値(平成16年度) 42.3%	平成21年度末目標値 35.0%
			平成26年度末目標値 25.0%	
基本的方向		○目標値達成のために… 1のア～ウに加え、保育所入所枠の拡大、特別保育事業の拡大による。 1. 子どもの安全を確保するため、公共施設、公園、道路・河川等から危険を除去し、安全な環境づくりに努める。 2. 安心して出産を迎え、出産後も育児不安がない状態にするために、母親教室の受講者割合や3歳児健診の受診率を高めるとともに、新生児の訪問指導数を増やし、特に支援を要する母親に対しての指導を充実させる。 3. 乳幼児から絵本を通じた親子のふれあいを助長するために、図書館や公民館のボランティア講座と連携し、乳幼児健診時に行う読み聞かせ事業の拡充を図る。 4. 多様な保育ニーズに対応するために、私立保育所の定員を拡大するとともに、特別保育の利用者数を増やす。 5. 在家庭の母親に対する育児支援を行なうために、保育所で行なう「地域子育て支援センター」を増やし、親子同士の輪を広げながら子育ての悩みや不安の軽減を図る。 6. 地域で子どもが元気に遊び、安全に過ごすことが出来るようにするために、児童館の増設に取り組むとともに、子どもが集える場等子育てに関する情報の一層の周知を図る。 7. 子育て家庭の経済的負担を軽減するために、保育料を軽減するとともに、「みんなで支える子育て」をより広い取り組みとするために、企業と協働した子育て支援サービスの実施を目指す。		
2	施策名	地域資源を活かした観光・物産の振興		

課題	<ol style="list-style-type: none"> 盛岡市の観光客入込数については、過去10年間を見ると岩手山の火山活動、景気低迷等の影響により平成10年度の371万人回を底として、平成16年度の390万人回まで微増の状況が続いており、更なる観光客の増加が課題である。 盛岡の物産(特産品)については、知名度の向上及び売り上げの増加が課題である。 玉山村との合併による新たな観光資源等を有効に活用した効果的な観光PR策の検討・実施が課題である。 								
目指す成果(目標)	<p>◎ 新総合計画の成果指標</p> <p>新しい総合計画の目標年次である平成26年度における観光客入込数を2003年の15%増とする。</p> <table border="1" data-bbox="366 495 1351 606"> <tr> <td data-bbox="366 495 674 606">1 観光客入込み数</td> <td data-bbox="680 495 893 606">現状値(平成16年度)</td> <td data-bbox="900 495 1128 606">平成21年度末目標値</td> <td data-bbox="1135 495 1351 606">平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="680 561 893 606">390万人回</td> <td data-bbox="900 561 1128 606">410万人回</td> <td data-bbox="1135 561 1351 606">440万人回</td> </tr> </table>	1 観光客入込み数	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値		390万人回	410万人回	440万人回
1 観光客入込み数	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値						
	390万人回	410万人回	440万人回						
基本的方向	<ol style="list-style-type: none"> 盛岡ブランド事業として、街なかブランドの開発、ブランド啓発地元学の開催、特産品ブランド化・観光商品造成や水の恵みのブランド化等のアクションプラン及びテレビ・新聞・インターネット等メディアを活用したブランド広告や以下の事業を有機的に結び実施する。 平成15年度から東京駅において実施している首都圏観光PR事業等を実施し、観光PRや旅行代理店、出版社、マスコミへの告知を図り、「まつり」「先人」「食文化」等、歴史と自然や水に恵まれた盛岡の都市イメージや盛岡ブランドの売込みを図る。 盛岡さんさ踊りやチャグチャグ馬コなど、まつりの魅力度の向上やPR方法について検討し、東北を代表するまつり行事を目指すほか、国内外にまつり行事を派遣し、まつりの知名度向上と観光客の誘致を促進する。 冬季観光イベントとして3年目を迎える「盛岡雪あかり」の開催や岩手雪まつり等冬季イベントの一体的な推進に努める。 首都圏(横浜高島屋)における観光と物産展による観光・物産PRを継続し、特産品の販路拡大につなげるとともに、新たな観光と物産展開催を検討する。 石川啄木生誕120年及び宮沢賢治生誕110年を記念する事業を実施する。 また、実施にあたっては、岩手公園開園100周年記念事業と連携を図るほか、民間の媒体と連携し全国に発信するなど、新たな視点による事業推進を図る。 玉山村との合併による新たな観光ルートづくり等PR事業を実施する。 								

3 施策名	うるおいのある公園・街路樹の確保																								
課題	<ol style="list-style-type: none"> 花と緑のガーデン都市づくりにおけるハンギングバスケット設置事業については、市主導から地域の自主的取り組みへの転換を図っていく必要がある。 ハンギングバスケットの管理(水やり)は、毎日のことであり、商店街・オフィス街にとって大きな負担となる。 都市公園の維持管理については、遊具の点検・補修や再整備が要望に追いつかない。 区画整理事業により確保された公園については、街づくりの進捗に公園整備が追いつかない。 街路樹については、管理延長の増加に管理が追いつかず、剪定等の間隔が長くなっている。 																								
目指す成果(目標)	<p>◎ 新総合計画の成果指標</p> <table border="1" data-bbox="366 1610 1351 1743"> <tr> <td data-bbox="366 1610 674 1743">1 市民アンケート調査「公園や街路樹などの街の緑が多いと思う」と答えた市民の割合</td> <td data-bbox="680 1610 893 1743">現状値(平成16年度)</td> <td data-bbox="900 1610 1128 1743">平成21年度末目標値</td> <td data-bbox="1135 1610 1351 1743">平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="680 1698 893 1743">75.5パーセント</td> <td data-bbox="900 1698 1128 1743">80.0パーセント</td> <td data-bbox="1135 1698 1351 1743">80.0パーセント</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="366 1774 1351 1884"> <tr> <td data-bbox="366 1774 674 1884">2 1人当たりの公園等面積</td> <td data-bbox="680 1774 893 1884">現状値(平成16年度)</td> <td data-bbox="900 1774 1128 1884">平成21年度末目標値</td> <td data-bbox="1135 1774 1351 1884">平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="680 1840 893 1884">10.1平方メートル</td> <td data-bbox="900 1840 1128 1884">10.5平方メートル</td> <td data-bbox="1135 1840 1351 1884">10.9平方メートル</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="366 1915 1351 2026"> <tr> <td data-bbox="366 1915 674 2026">3 街路樹のある道路延長</td> <td data-bbox="680 1915 893 2026">現状値(平成16年度)</td> <td data-bbox="900 1915 1128 2026">平成21年度末目標値</td> <td data-bbox="1135 1915 1351 2026">平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="680 1981 893 2026">82.7キロメートル</td> <td data-bbox="900 1981 1128 2026">100.0キロメートル</td> <td data-bbox="1135 1981 1351 2026">112.0キロメートル</td> </tr> </table>	1 市民アンケート調査「公園や街路樹などの街の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値		75.5パーセント	80.0パーセント	80.0パーセント	2 1人当たりの公園等面積	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値		10.1平方メートル	10.5平方メートル	10.9平方メートル	3 街路樹のある道路延長	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値		82.7キロメートル	100.0キロメートル	112.0キロメートル
1 市民アンケート調査「公園や街路樹などの街の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値																						
	75.5パーセント	80.0パーセント	80.0パーセント																						
2 1人当たりの公園等面積	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値																						
	10.1平方メートル	10.5平方メートル	10.9平方メートル																						
3 街路樹のある道路延長	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値																						
	82.7キロメートル	100.0キロメートル	112.0キロメートル																						

	<p>◎短期的成果目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハンギングバスケット整備対象路線は、平成18年度末に延長11800メートルとする。初年度である平成16年度に3200メートル、その後平成17年度に2500メートル、平成18年度に6100メートルを追加する。 2. 遊具の安全領域が確保されていない公園328公園について、平成16年度からの5カ年で移設工事を行うこととする。 3. 未開設となっている幼児公園予定地42箇所について、地域と協力して早期の整備を図る。 4. 街路樹(高木)9859本について、隔年の剪定を実施することを目指す。
<p>基本的方向</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハンギングバスケットについては、地域の積極的な取り組みを誘導するためのソフト施策の充実を図る。(講習会、展示会、コンクール、表彰制度など。) また、ハンギングバスケットだけではなく、市民や事業所、商店街などの協力を得て、公共空間に接する民有地の緑化支援など、街なかの緑化全体について市民総意による推進を図る。 2. 未開設公園の整備にあたっては、グラウンドワーク等、地域住民が主体となる取り組みを優先的に支援する。 3. 公園の安全確保については、日常管理を行っている公園愛護会との協力により巡視等の活動を行うなど、危険箇所の早期発見と適切な補修に努める。 4. 街路樹については、剪定方法を工夫することにより作業の軽減を図るとともに、新規設置路線については維持管理が容易な樹種を選定する。 5. 岩手公園100周年記念事業の実施にあたっては、石川啄木生誕120年、宮沢賢治生誕110年の記念事業との共通イベントの開催などにより連携を図るとともに、雪あかりなど、岩手公園を会場としたその他のイベントも活用し、効果的な事業展開を目指す。

[画面上へ](#)

[ウェブもりおか](#) > [平成17年度予算編成について](#) > [予算を重点配分する3施策](#)

盛岡市市長公室行財政改革推進課

Copyright 2005 City of Morioka. All Rights Reserved.

盛岡市の行財政構造改革

ウェブもりおか > 平成18年度予算編成について > 予算の水準を維持しながら成果を向上する7施策

平成18年度予算重点化施策の基本方針

予算の水準を維持しながら成果の向上を図る7施策

- 1 市民生活を守る安全対策の充実 | 2 将来を担う次世代の育成 | 3 まちに活力を与える工業の振興 | 4 多様で活発な商業・サービス業の振興
5 安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進 | 6 快適な居住環境の実現 | 7 都市活動を支える交通環境の構築

<p>1 施策名</p> <p>市民生活を守る安全対策の充実</p> <p>課題</p>	<p>1. 車社会の進展と幹線道路整備の遅れにより、幹線道路で受け持つべき交通が生活道路や通学路、枝道等に流入しているため、生活道路等の交通量が増大し、傾向として自転車、歩行者の事故が多くなってきている。</p> <p>2. 鉄道駅周辺において、駅利用者及び周辺地区住民などの鉄道により分断されている地域への往来は、歩行者・自転車とも大幅な迂回を余儀なくされる他、自動車交通量の多い近隣の狭隘な踏み切り集中するため、交通安全上の問題となっている。</p> <p>3. 冬期間において、路面の凍結に起因する自動車等のスリップ事故や歩行者等の転倒事故が多発している。</p> <p>4. 安全で住みよい街づくりには、「自分達の地域は自分達で守る」という観点から、町内会を中心とした地域での取り組みが大切である。特に多発している振り込め詐欺等の悪質商法の被害にあわない対策のほか、被害者となり易い子供たちや高齢者を犯罪から守ることなど、市と地域が一体となった取り組みが求められている。</p> <p>5. 高齢社会を迎え、高齢者が運転免許人口に占める割合も増加していることに加え、ここ数年の交通事故による死者数のうち約半数が高齢者となっていることから、高齢者に対する交通安全対策の取組みが重要である。</p>															
<p>目指す成果(目標)</p>	<p>◎ 新総合計画の成果指標</p> <table border="1" data-bbox="363 1216 1348 1322"> <tr> <td>1</td> <td>人口1万人あたりの交通事故発生件数 (当市の数値/全国平均)</td> <td>現状値(平成16年度) 83.2パーセント</td> <td>平成21年度末目標値 83.2パーセント</td> <td>平成26年度末目標値 83.2パーセント</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="363 1353 1348 1477"> <tr> <td>2</td> <td>人口1万人あたりの刑法犯発生件数 市内の警察署の数値/全国平均</td> <td>現状値(平成16年度) 76.5パーセント</td> <td>平成21年度末目標値 76.0パーセント</td> <td>平成26年度末目標値 76.0パーセント</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="363 1508 1348 1614"> <tr> <td>3</td> <td>消費生活相談の解決率 解決した件数/消費生活件数</td> <td>現状値(平成16年度) 97.4パーセント</td> <td>平成21年度末目標値 98.0パーセント</td> <td>平成26年度末目標値 99.0パーセント</td> </tr> </table>	1	人口1万人あたりの交通事故発生件数 (当市の数値/全国平均)	現状値(平成16年度) 83.2パーセント	平成21年度末目標値 83.2パーセント	平成26年度末目標値 83.2パーセント	2	人口1万人あたりの刑法犯発生件数 市内の警察署の数値/全国平均	現状値(平成16年度) 76.5パーセント	平成21年度末目標値 76.0パーセント	平成26年度末目標値 76.0パーセント	3	消費生活相談の解決率 解決した件数/消費生活件数	現状値(平成16年度) 97.4パーセント	平成21年度末目標値 98.0パーセント	平成26年度末目標値 99.0パーセント
1	人口1万人あたりの交通事故発生件数 (当市の数値/全国平均)	現状値(平成16年度) 83.2パーセント	平成21年度末目標値 83.2パーセント	平成26年度末目標値 83.2パーセント												
2	人口1万人あたりの刑法犯発生件数 市内の警察署の数値/全国平均	現状値(平成16年度) 76.5パーセント	平成21年度末目標値 76.0パーセント	平成26年度末目標値 76.0パーセント												
3	消費生活相談の解決率 解決した件数/消費生活件数	現状値(平成16年度) 97.4パーセント	平成21年度末目標値 98.0パーセント	平成26年度末目標値 99.0パーセント												
<p>基本的方向</p>	<p>1. 基本的に交通量の多い路線を優先し、通学路を主体とした歩車道分離の道路整備や、現地の状況に則したガードレール、カーブミラー等付帯施設の整備を行い、交通安全施設の充実を図る。 幹線道路整備の進捗状況による交通需要のシフト・変化等を実態調査のうえ、将来の需要を予測しながら対応を検討する。</p> <p>2. 通勤・通学者の利便性の向上と、通行の安全を確保するため、IGRいわて銀河鉄道厨川駅東西自由通路の整備事業を進める。</p> <p>3. 冬期のスリップ事故防止策として、岩山2号線の急坂部に消雪施設の整備を継続して進める。</p> <p>4. 町内会等と連携して、防犯チラシの配布等による防犯活動を推進するとともに、消費者講座の開催を通じて、悪質商法に負けないまちづくりを推進する。</p> <p>5. 高齢者を対象とした交通安全講座及び交通安全啓発を強化する。</p>															
<p>2 施策名</p>	<p>将来を担う次世代の育成</p>															

課題

1. 学力については、小学校の国語、算数、及び中学校の国語は全国水準であるが、中学校の数学、英語は若干下回っている。学力を引き上げるためには、学校教育の質を高めることが大切である。そのためには、学校施設の整備・充実、パソコンを含めた教材教具の充実、教職員研修、個に応じた指導体制の確立などが不可欠である。
2. 体力については、中学校は全国水準以上であるが、小学校が男女とも全国水準を下回っている。体力の向上を図るためには、体育学習の質の向上はもとより、校庭や体育館、プールなどの施設の整備・充実が不可欠である。また、健康・安全に対する教育やスポーツ振興も欠くことができない。
3. 健全育成については、不登校児童生徒の出現率は、全国水準以下であるが、少ないとは言えない状況である。不登校児童生徒の解消については、新たな不登校を出さないこと、不登校児童生徒及び保護者への援助、そして、学校復帰への取り組みが大切であり、関係機関、団体等との連携も欠くことができない。また、児童生徒の健全育成については、小・中・高等学校間の連携及び地域の関係機関・団体等からの協力も大切である。
4. 市立高等学校については、進路達成率の向上と部活動の活性化が課題である。

◎ 新総合計画の成果指標

目指す成果(目標)

1	小中学校学力検査の全国水準(100ポイントとして)との比較	現状値(平成16年度)		平成21年度末目標値		平成26年度末目標値	
		小学校4年生	中学校2年生	小学校4年生	中学校2年生	小学校4年生	中学校2年生
		国語	107.2ポイント	107.0ポイント	108.0ポイント	108.0ポイント	112.0ポイント
算数・数学	104.6ポイント	99.8ポイント	108.0ポイント	104.0ポイント	112.0ポイント	108.0ポイント	

2	問題行動調査(不登校)の全国水準(100ポイントとして)との比較	現状値(平成16年度)		平成21年度末目標値		平成26年度末目標値	
		小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
		100.00ポイント	99.91ポイント	99.99ポイント	99.90ポイント	99.98ポイント	99.89ポイント

3	体力運動能力(走・跳・投)の全国水準との比較(全国水準を上回っている種目の数)	現状値(平成16年度)		平成21年度末目標値		平成26年度末目標値	
		小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
		96種目中8種目	48種目中38種目	96種目中18種目	48種目中43種目	96種目中38種目	48種目中48種目

基本的方向

1. 児童生徒の学力の向上については、小学校低学年において、きめ細かな指導を行い基本的な生活習慣の定着と基礎学力の向上を図るため、少人数指導教員を配置するほか、学校施設の老朽化への対応や耐震性能の向上を図るため、改築や大規模改修工事などを行う。
2. 児童生徒の体力の向上については、施設の整備・充実も不可欠であることから学校体育施設の整備などを行う。
3. 不登校児童生徒の解消については、不登校対策を含めた生徒指導の課題や、学習障害等に対応するため、学校支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの実態に即したきめ細かな指導などを行う。
また、児童生徒の健全育成については、盛岡地域生徒指導研究推進協議会の事業を一層充実させる。
4. 市立高等学校は、学校の個性化と文武両道を改革の基本方針としてその推進に取り組んでいる。学力の向上と生徒の就職を含めた進路希望の実現を図るため、コース制の充実・各学科カリキュラムの見直し検討を行うとともに、就職支援相談員を活用し求人開拓の推進・生徒の就職相談の充実にも努める。部活動の充実発展については、指導者の確保に努め、優秀な生徒獲得のため入試制度の改善を進める。また、施設設備の改修等を計画的に実施し、教育環境の整備充実を図る。さらに、学校評議員制度を活用し、より一層開かれた学校、特色ある学校づくりに努める。

3 施策名 まちに活力を与える工業の振興

課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学等試験研究機関が有する人材や研究成果の活用や企業が行う技術開発などを積極的に支援するため、岩手大学構内に建設予定の「(仮称)盛岡市産学官連携研究センター」、盛岡南地区の産業用地、玉山村内の用地などの施設や用地を最大限に活用し、企業誘致や地場産業の活性化を積極的に推進し、雇用の場の創出に努める必要がある。 2. 引き続き起業を目指す人を支援するほか、住居と工場の混在の解消と工場規模の適正化を図るため、四十四田企業団地の完成に向けた取り組みを早急に推進することが課題である。 								
目指す成果(目標)	<p>◎ 新総合計画の成果指標</p> <p>企業誘致、工場の集団化、ものづくり系の起業者の育成支援により製造品出荷額等の増加を図り、目標値は下記のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 製造品出荷額</td> <td>現状値(平成16年度)</td> <td>平成21年度末目標値</td> <td>平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>225億5700万円</td> <td>236億8400万円</td> <td>248億6800万円</td> </tr> </table>	1 製造品出荷額	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値		225億5700万円	236億8400万円	248億6800万円
1 製造品出荷額	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値						
	225億5700万円	236億8400万円	248億6800万円						
基本的方向	<ol style="list-style-type: none"> 1. 四十四田企業団地への参加企業を確定し、参加企業組合が用地造成等に着手できるよう、商工会議所、中小企業団体中央会と連携しながら指導・支援し事業の推進を図る。 2. 「(仮称)盛岡市産学官連携研究センター」の建設工事を行うとともに、大学と連携しながら具体的に起業家を支援していく。 3. 盛岡南地区の産業用地の一部が分譲可能となることから、企業誘致活動を強化する。 4. 市産業支援センターにおける起業家支援を継続するとともに、専任マネージャーによる起業家塾の開催を通じて、より幅広い育成支援活動を推進する。 								

4 施策名	多様で活発な商業・サービス業の振興																
課題	<p>本市においてもモータリゼーションなどによる生活様式の変化を背景とした郊外の大型店の立地が進む中で、地域文化や伝統の承継・発展などのコミュニティ活動を担う役割と、地域住民が交流する場等を提供してきた、「街の顔」ともいうべき中心市街地商店街等の年間小売販売額、店舗数等の減少傾向が続き、さらに大型店の閉鎖など、深刻さを増している。</p> <p>今後、中心市街地商店街等が郊外の大型店と共存共栄しながら、その活力を維持促進し、広域的な集客力を高めていくためには、より魅力ある商店街あるいは個店づくり等の取り組みが喫緊の課題となっている。</p>																
目指す成果(目標)	<p>◎ 新総合計画の成果指標</p> <p>盛岡市中心市街地の店舗数、従業者数、年間小売販売額の減少傾向に歯止めをかけるとともに、市全体の卸・小売年間販売額の増加を図る。</p> <p>今後、市域全体の小売売場面積が増加すること、広域的集客力を高める等の取り組みのほか、多様なサービス業の創出支援等により、目標値は下記のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 卸・小売の年間販売額</td> <td>現状値(平成16年度)</td> <td>平成21年度末目標値</td> <td>平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1兆4108億円</td> <td>1兆4985億円</td> <td>1兆5749億円</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>2 サービス業の事業所数</td> <td>現状値(平成16年度)</td> <td>平成21年度末目標値</td> <td>平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4839事業所</td> <td>5081事業所</td> <td>5335事業所</td> </tr> </table>	1 卸・小売の年間販売額	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値		1兆4108億円	1兆4985億円	1兆5749億円	2 サービス業の事業所数	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値		4839事業所	5081事業所	5335事業所
1 卸・小売の年間販売額	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値														
	1兆4108億円	1兆4985億円	1兆5749億円														
2 サービス業の事業所数	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値														
	4839事業所	5081事業所	5335事業所														
基本的方向	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商工会議所、まちづくり会社等の商業団体と連携して、商店街の基盤整備や施設整備の検討、集客施設の誘致やテナントミックス、人材育成等を促進する。 2. 商店街の活力を取り戻すため、平成17年度から重点実施している空き店舗活用事業や個店魅力アップ促進事業を継続実施する。 3. 空き店舗等を利用し、若者等が安価で一定期間チャレンジできるチャレンジショップ事業を推進する。 4. 観光にもつながる特色ある店舗、通り、施設づくりを計画促進するとともに、ミステリー映画祭などのイベントや麺などの魅力ある店舗のルート化を積極的に展開して集客力を高める。 5. 高齢者が気軽に休めるスペース確保や駐輪対策などの検討を進める。 6. 起業を目指す人あるいは起業して間もない人を積極的に指導支援し、商業や多様なサービス業の新規創業者の増加に努める。 																

5 施策名	安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進
-------	----------------------

課題	1. 産業活動に対する支援の効果が現れにくい。 2. 求職者が望む求人や職種が少ない。													
目指す成果(目標)	◎ 新総合計画の成果指標													
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1 盛岡公共職業安定所管内の求人倍率</td> <td>現状値(平成16年度)</td> <td>平成21年度末目標値</td> <td>平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td>0.59倍</td> <td>1.00倍</td> <td>1.19倍</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">2 新たに雇用された人の数／職を求める人の数</td> <td>現状値(平成16年度)</td> <td>平成21年度末目標値</td> <td>平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td>1万2339人／13万4807人</td> <td>7900人／9万1000人</td> <td>6500人／7万5000人</td> </tr> </table>	1 盛岡公共職業安定所管内の求人倍率	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値	0.59倍	1.00倍	1.19倍	2 新たに雇用された人の数／職を求める人の数	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値	1万2339人／13万4807人	7900人／9万1000人
1 盛岡公共職業安定所管内の求人倍率	現状値(平成16年度)		平成21年度末目標値	平成26年度末目標値										
	0.59倍	1.00倍	1.19倍											
2 新たに雇用された人の数／職を求める人の数	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値											
	1万2339人／13万4807人	7900人／9万1000人	6500人／7万5000人											
基本的方向	◎ 短期的成果目標													
	1. 雇用推進計画により平成19年度までに5000人の雇用増を目指す。 2. 平成18年度の目標値は、1393人である。													
	1. 企業活性化の支援と民間活力による雇用創出推進を図ることとし、そのため、商工業、観光、農林業の推進強化、中小企業の経営基盤強化支援、新産業の創出や新規創業の支援、盛岡ブランドの形成を進める。 2. 市の行政活動による雇用創出推進を図ることとし、そのため、若年者の雇用、市の仕事の外部委託、福祉施設の建設やサービスの支援、都市基盤整備を図りながら企業の誘致活動、森林の公益的機能の維持や新エネルギーの利用促進、未利用市有地等の活用促進、就職機会の提供を行い雇用の場を広げる。 3. 市単独費による雇用対策事業を実施することにより、雇用の場を確保する。													

6 施策名	快適な居住環境の実現													
課題	1. 生活道路の改良整備・維持管理について市議会で多くとりあげられ、また、まちづくり懇談会や町内会、各種団体等から数多くの要望がある。更には、平成15年度に実施した市民意識調査、平成16年度に実施した新総合計画策定に係るアンケート調査においても上位を占めている。このような状況にもかかわらず、市の厳しい財政環境のため対応不足が否めず、先送りせざるを得ない状況が続く、改良整備の住民要望を充足できない現状であるとともに既存の道路施設も老朽化が著しい状況である。 2. 除排雪については、社会の変化とともに雪対策に関する市民意識の高揚・ニーズの多様化が顕著であり多くの意見・苦情が寄せられている。このことから、除雪路線の拡大や迅速・丁寧な対応、高齢者・身体障害者等に配慮した除雪、除雪委託業者確保等体制の強化と市民の理解による協力が課題となっている。 3. 中高層建築物の建築に際し建築主と近隣住民の紛争防止を図る必要がある。													
目指す成果(目標)	◎ 新総合計画の成果指標													
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1 市民アンケート調査で「快適な居住環境である」と答える市民の割合</td> <td>現状値(平成16年度)</td> <td>平成21年度末目標値</td> <td>平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td>47.8パーセント</td> <td>51.0パーセント</td> <td>55.0パーセント</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">2 市道舗装率</td> <td>現状値(平成16年度)</td> <td>平成21年度末目標値</td> <td>平成26年度末目標値</td> </tr> <tr> <td>81.2パーセント</td> <td>84.0パーセント</td> <td>86.0パーセント</td> </tr> </table>	1 市民アンケート調査で「快適な居住環境である」と答える市民の割合	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値	47.8パーセント	51.0パーセント	55.0パーセント	2 市道舗装率	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値	81.2パーセント	84.0パーセント
1 市民アンケート調査で「快適な居住環境である」と答える市民の割合	現状値(平成16年度)		平成21年度末目標値	平成26年度末目標値										
	47.8パーセント	51.0パーセント	55.0パーセント											
2 市道舗装率	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値											
	81.2パーセント	84.0パーセント	86.0パーセント											
	生活道路整備については、地域要望を踏まえ現地の実態を把握し、改良整備や維持管理の緊急性・必要性を検討しながら対応に努め、安全・円滑・快適な道路環境の構築を目指す。 除排雪については「盛岡市除排雪基本方針」に基づき実施することとし、長期的には生活道路(1,186キロメートル)の除雪率100%を目標とする。また市民と行政の協働による除雪体制作りにも努める。 市道舗装率の向上と市民アンケート調査で「快適な居住環境であると答える市民の割合の増加を図る。													

基本的方向

1. 生活道路については、快適な居住環境の実現と交通弱者に配慮した道路整備を基本としながら、緊急を要する路線の改良整備に努めるとともに、道路パトロールの強化を図り既存の道路施設の適切な維持管理に努める。
2. 幅員4メートル以上の未舗装道路については、継続的に整備を進める。
3. 除排雪については、委託業者の確保や保有する除雪機械の増強を図り除雪路線の拡大に努める。
4. 市内各町内会に貸与する小型除雪機械の増強や農家所有のトラクターの協力を要請するなど、引き続き市民の協力をお願いする。
5. 地域特性を考慮した除雪、また高齢者に配慮した除雪等について町内会等と話し合いを進める。
6. 中高層建築物の建築に際して建築主と近隣住民との間で発生が予測される紛争の未然防止に努める。
7. 良好な住環境形成に向けた建築協定制度など各種制度の周知及び啓発の強化に努める。

7 施策名 都市活動を支える交通環境の構築

課題

1. 市の総合的な交通体系の確立を図るため新総合計画の都市づくりや交通施策の方向性を踏まえた総合交通計画の策定が必要である。
2. 都市計画道路の見直しは、平成16年度に策定した「見直しの今後の進め方の基本方針」に基づき、将来道路網の検証や段階的的道路網計画の立案等を踏まえ関係住民との合意形成を図りながら都市計画変更を行う必要がある。
3. 都市計画道路等の幹線道路の整備は、国・県との役割分担を踏まえて整備を促進する必要がある。行財政構造改革等を念頭におきコストを検討しながら効率的な整備に努めるとともに、より現実性の高い都市計画道路整備プログラムの見直しと広域圏道路整備プログラムの策定が必要である。
4. オムニバスタウン事業の評価結果において、課題事項の改善等バス利用促進の方策について更にバス事業者等の関係機関と協議を進めるとともに、郊外等の赤字バス路線については路線の再編成等も含め検討が必要である。
5. 渋滞解消のため、公共交通機関の利用促進により、自動車交通量の削減を図る必要がある。特に、バス交通の充実を図り、車からバスへの利用転換の受け皿整備を進める必要がある。
6. 新しい市街地の拡大に伴う交通ネットワークの整備を進める必要がある。
7. 環境に優しい自転車利用の街や歩いて楽しめる街の実現が求められており、都市交通における一つの交通手段として位置づけ、自転車利用者及び歩行者対策の検討が必要である。
8. 鉄道利用の促進を図るため、バス等との連携も視野に入れながら、鉄道駅へのアクセス強化策や新駅設置の可能性、列車運行回数の増加とダイヤの改善等について鉄道事業者等の関係機関と協議が必要である。

目指す成果(目標)

◎ 新総合計画の成果指標

平日の主要幹線道路の自動車平均旅行速度は、現在そのまま推移すると自動車需要の増加により、平成26年度末においては、毎時約10キロメートル低下すると予測されるが、公共交通利用促進や道路整備等の各施策の展開により低下の軽減を図ることとし、次のとおり目標値を設定する。

1	平日の主要幹線道路の自動車平均旅行速度	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値
		毎時21.7キロメートル	毎時17.0キロメートル	毎時15.0キロメートル

2	無違反の歩行者自転車事故に遭った人数	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値
		414人	414人	372人

3	交通手段分担率の変化	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値	
		自動車	50.2パーセント	49.8パーセント	49.1パーセント
		バス	7.3パーセント	7.5パーセント	7.7パーセント
		鉄道	3.3パーセント	3.4パーセント	3.5パーセント
		徒歩			

	自転車	39.2パーセント	39.3パーセント	39.7パーセント
4	1日当たりバス・鉄道利用者数	現状値(平成16年度)	平成21年度末目標値	平成26年度末目標値
		6万4470人	6万5300人	6万7000人

基本的方向

1. 交通対策を総合的かつ計画的に進めるために、平成16年度から総合交通計画策定の調査及び計画の策定作業を進めており、平成18年度に完成させる。
2. 平成20年度を目途に将来道路網計画の検証及び段階的道路網計画の策定を行う。
3. バス優先の交通ネットワークの構築のためのバス優先レーンやバス専用レーンの拡大を図る。
4. バスと鉄道の連携強化を図るため、鉄道駅へ接続するバス路線の設定や接続ダイヤの設定などを関係機関と協議を行う。
5. 新たな市街地(盛南地区)と既存市街地とを結ぶバス路線のネットワークについて検討を行う。
6. 利用者ニーズに合ったバス路線の再編を図る。
7. 自転車利用促進と歩行環境の向上を図るため、自転車駐車場の運営や放置自転車対策のほか、通学路を主体として交通安全施設の整備を進める。
8. 広域交通や物流、都市活動を支える都市計画道路や広域圏道路などの幹線道路の整備を進める。

[画面上へ](#)

[ウェブもりおか](#) > [平成18年度予算編成について](#) > [予算の水準を維持しながら成果を向上する7施策](#)

盛岡市市長公室行財政改革推進課

Copyright 2005 City of Morioka. All Rights Reserved.

盛岡市の行財政構造改革

ウェブもりおか > 平成18年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程・施策の優先度評価結果 > 成果優先度評価結果シート

施策の成果優先度評価結果シート

施策の成果優先度評価結果シート(1)

「「新たな政策課題に対応した重点化施策(※)」の推進に施策がどの程度結びついているか」についての評価と、「成果向上に盛岡市の施策が及ぼす影響力」についての評価を表したシートです。

シートの左上に位置する施策ほど、重点化施策の推進に関連が深く、かつ盛岡市の施策が及ぼす影響力が大きいという評価になっています。

		← 成果向上に盛岡市の施策が及ぼす影響力 →			
		かなり大きい (盛岡市全体)	やや大きい (盛岡市全体・他団体)	やや小さい (国・県主体)	小さい (住民の取組み主体)
↑ 「 <u>新たな政策課題に対応した重点化施策(※)」</u> の推進に施策がどの程度結びついているか ↓	直結する	IV-16 生活道路 IV-28 花と緑のまちづくり VI-35 行財政運営の効率化	II-08 観光・物産の振興 III-11 学校教育の充実 IV-18 公園緑地 VI-34 市民参加の促進 VI-36 イメージアップの推進 VI-37 広域行政の推進	V-31 市民福祉の充実	II-07 商業・サービス業の振興
	直結するが不透明さもある		I-02 市街地の整備 I-03 総合交通体系の整備 II-06 工業の振興 III-15 研究学園都市の形成 IV-20 下水道 IV-27 都市景観の形成 VI-38 地方分権の促進		I-04 情報通信機能の整備 II-09 勤労者福祉の充実
	必ずしも直接は結びつかない	III-10 生涯学習環境の整備 IV-24 消防・防災体制の充実	I-01 土地利用計画の推進 II-05 農林業の振興 III-12 社会教育の充実・スポレクの振興 III-13 文化の振興 IV-17 住宅 IV-21 廃棄物処理 IV-23 防犯・交通安全の推進 IV-25 自然災害の防止 IV-26 自然・歴史的環境の保全と活用 IV-29 公害の防止 V-32 高齢者福祉の充実 V-33 保健・医療の充実		III-14 国際交流の推進 V-30 コミュニティづくりの促進

結びつかないし、影響力もあまりない	IV-19 上水道 IV-22 火葬場・墓園			
-------------------	---------------------------	--	--	--

施策の成果優先度評価結果シート(2)

「新たな政策課題に対応した重点化施策(※)」の推進に施策がどの程度結びついているか」についての評価と、「投資によって施策の成果を向上させる余地がどれくらいあるか」についての評価を総合的に表したシートです。

シートの左上にある施策ほど、重点化施策の推進に関連が深く、かつ投資によって成果を向上させる余地が大きいという評価になっています。

		← 投資によって施策の成果を向上させる余地がどれくらいあるか →			
		かなりある	どちらかと言えば大きい	どちらかと言えば小さい	ほとんどない
↑ 「新たな政策課題に対応した重点化施策(※)」の推進に施策がどの程度結びついているか ↓	直結する	IV-16 生活道路 IV-28 花と緑のまちづくり VI-35 行財政運営の効率化	II-07 商業・サービス業の振興 II-08 観光・物産の振興 III-11 学校教育の充実 IV-18 公園緑地 V-31 市民福祉の充実 VI-34 市民参加の促進 VI-36 イメージアップの推進 VI-37 広域行政の推進		
	直結するが不透明さもある	I-02 市街地の整備 I-03 総合交通体系の整備	II-06 工業の振興 II-09 勤労者福祉の充実 III-15 研究学園都市の形成 IV-27 都市景観の形成 VI-38 地方分権の促進		
	必ずしも直接は結びつかない	IV-25 自然災害の防止	I-01 土地利用計画の推進 II-05 農林業の振興 III-10 生涯学習環境の整備 III-12 社会教育の充実・スポレクの振興 III-13 文化の振興 IV-17 住宅 IV-21 廃棄物処理 IV-23 防犯・交通安全の推進 IV-24 消防・防災体制の充実 IV-26 自然・歴史的環境の保全と活用 V-30 コミュニティづくり	I-04 情報通信機能の整備 III-14 国際交流の推進 IV-20 下水道 IV-29 公害の防止	

		くの促進 V-32 高齢者福祉の 充実 V-33 保健・医療の 充実		
結びつかないし、影響力もあまりない	IV-19 上水道 IV-22 火葬場・墓園			

※「新たな政策課題に対応した重点化施策」とは？

2004年3月に盛岡市が策定した「新たな政策課題に対応した重点化施策(方針)」のことです。第三次盛岡市総合計画に基づく事業の推進に併せ、新しい視点での市政の展開を目指し、緊急かつ重点的に取り組むべきものを以下の通りとりまとめています。

- 1 優先プロジェクトー緊急課題として庁内横断的に取り組む施策
 - ・ 雇用対策に関する推進プロジェクト
 - ・ 盛岡ブランドの確立に関する推進プロジェクト
 - ・ ガーデン都市づくりに関する推進プロジェクト
- 2 分野別の重点施策ー市民ニーズが高い分野で重点的に取り組む施策
 - ・ 子育て支援と地域福祉の推進
 - ・ 次代を担う人材の育成
 - ・ 暮らしやすい、環境にやさしい都市の創造
 - ・ 市民に開かれた理想の県都の創造

[画面上へ](#)

[ウェブもりおか](#) > 平成18年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程・施策の優先度評価結果 > 成果優先度評価結果シート

盛岡市市長公室行財政改革推進課

Copyright 2005 City of Morioka. All Rights Reserved.

成果水準が高い

		C1		C2		C3		C4	
市の裁量大きい	↑	7 IV-19 上水道 IV-24 消防・防災体制の充実		I-02 市街地の整備 IV-20 下水道 IV-26 自然・歴史的環境の保全と活用					
	8	III-10 生涯学習環境の整備		I-01 土地利用計画の推進 III-12 社会教育の充実・スポレクの振興 III-13 文化の振興 III-15 研究学園都市の形成 IV-17 住宅 IV-21 廃棄物処理 VI-38 地方分権の促進				I-04 情報通信機能の整備	
	9	IV-16 生活道路 IV-22 火葬場・墓園 IV-28 花と緑のまちづくり		I-03 総合交通体系の整備 III-11 学校教育の充実 IV-18 公園緑地 IV-25 自然災害の防止 IV-29 公害の防止 V-32 高齢者福祉の充実 V-33 保健・医療の充実 VI-34 市民参加の促進 VI-36 イメージアップの推進 VI-37 広域行政の推進				II-07 商業・サービス業の振興 II-09 勤労者福祉の充実 III-14 国際交流の推進 V-30 コミュニティ作りの促進	
	10			IV-27 都市景観の形成		V-31 市民福祉の充実			
	↓	11 VI-35 行財政運営の効率化		II-05 農林業の振興 II-06 工業の振興 II-08 観光・物産の振興 IV-23 防犯・交通安全の推進					
		C1		C2		C3		C4	

成果水準が低い